

予算に組み込まれた公明党の主な主張♪

- ◆産婦健康診断の実施回数：1回→2回へ
- ◆産後ケア事業：宿泊型に加え、通所・訪問も
- ◆教員の負担軽減：統合型校務支援システムの導入
- ◆大沼陸上競技場：リニューアル
- ◆小・中学校等避難所となる体育館：エアコン整備
- ◆通学路における街頭防犯カメラ増設
- ◆高齢者支援：補聴器購入費の一部補助
- ◆防災対策：トイレカー導入
- ◆ゴミ収集：ごみ分別アプリ、及び問い合わせに24時間対応する自動音声応答システム導入
- ◆国際交流：外国人職員の配置
- ◆観光：クレヨンしんちゃんのモニュメント追加
- ◆環境対策：太陽光発電整備等への設置補助

公明党では無料の法律相談を行っております
お申し込み、その他、ご相談・ご要望は

くりばら

まで

電話は 090-3476-6526



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



くりばら通信



皆さまには、常日頃より公明党へのご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

本年上半期は都議選、参院選と大型選挙が続きます。12年に1度の大型選挙戦となりますが、いずれにしても今後の日本の社会情勢を左右するものとなります。

地元春日部市でも、本年は新市施行20周年の佳節を迎えます。次の10年後20年後の明るい将来を展望できるような、夢と希望溢れる新年度となるよう、公明党市議団として団結して取り組んで参ります。今後ともより一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和7年3月度定例議会における一般質問より

1 気候変動枠組条約第29回 締約国会議（COP29）と 春日部市の取り組みについて

COP29は地球規模の国際会議ですが、気候変動、環境問題は待ったなしの危機的課題です。自治体としても出来ることがあるのではと訴えました。

答弁：市では国の重点対策加速化事業交付金を活用した、市民向けの再生可能エネルギー設備の導入補助事業を開始するなど、新たな春日部の姿を示すことで、事業効果を市域全体の排出量削減に繋げていきます。



2 運転免許証の自主返納者支援 について

市では昨年末から交通事故死亡者が3ヶ月連続して発生し、対策が求められています。国としても道路交通法の改正を行うなど対策を進めています。そこで高齢者の運転免許証の自主返納を進める観点からも、特定小型原動機付自転車の購入補助はできないかと訴えました。

答弁：体力に自信が無い方にとっては移動手段となりえると思えるが、免許返納者は高齢者が多いことから安全面の課題が心配です。



3 市営住宅における近隣トラ ブル解決支援サービスの導入 について

民間事業者による近隣トラブル解決支援サービスを導入する自治体が増えています。凶悪犯罪も増えていることから、市としても導入を検討するべきではと、訴えました。

答弁：先進事例や県・近隣自治体の動向を注視します。



4 子育て支援として、赤ちゃん の駅の拡充策について

赤ちゃんの駅については一般質問を通じ、平成21年に導入されました。さらにイベントでも利用できる移動型の赤ちゃんの駅の導入について、また他市では盗撮事例などもあることからその対策について伺いました。

答弁：移動型の赤ちゃんの駅は需要が少ないことから他市の動向を注視します。市内では盗撮などの事例はありませんが、施錠、防犯カメラの設置などで対応しています。

